

窓辺

企業再生と地域再生

まえだ
前田 しのぶ

私は大井川鉄道の事業再生の陣頭指揮を執る立場にいる。1年前に島田市にやってくるまでは、北海道



のホテルの事業再生を手掛けていた。なぜ地域事業の再生に携わるのか。「日本の真の復興はローカルから」という思いが根底にあるからだ。

ローカルエリアには潜在的な経営資源が眠っていることが多く、その価値は地域の住民や企業にとっては

空気のような当たり前の存在になっている。しかしそれは都市部に住む方々にとつては貴重なものであり、「価値」がそこに存在しているのである。その価値を地域の店舗や企業を通じて形にすることが、地域再生の根幹になるのだと考えている。

参画した北海道のホテルや現在の大井川鉄道の事業再生に関しても、私は地元出身者ではなく「よそ者」の立場にある。しかしよそ者だからこそ、空気のような存在になっている「物」

や「事」に対しての潜在的価値に気付くことができると、沿線には多くの人や物、そして文化が存在する。沿線各所の思いやこだわりも違う。大井川鉄道という企業がそれぞれの思いや潜在的価値をつなげることができれば、より効率的に効果が発揮できるのではないかと。もちろん事業再生中という企業体であるために自社の経営基盤を固めることが先決ではあるが「よそ者」だからこそこの気付きで、

自社および地域へ貢献できる策を今後も各所にて提案していきたいと考えている。

(大井川鉄道社長)